

平成23年度化学工学会九州支部学生賞報告

平成23年7月9日に北九州国際会議場において開催された第48回化学関連支部合同九州大会に併設する形で、平成23年度九州支部学生賞審査会が行われました。本学生賞は、学生自身の能力を審査する観点から、研究の理解度やプレゼンテーション能力を特に重視して毎年審査が行われている支部企画です。本年は博士課程（博士後期課程）1名、修士課程（博士前期課程）10名が審査会において研究発表を行い、17名の審査委員によって厳正に審査が行われました。その結果、受賞者は下記の通り、博士課程の部は該当者なし、修士課程の部3名の方に決定しました。受賞者各位の発表はもとより、今回は惜しくも選外となった学生諸君の研究への理解、発表能力も高いレベルのものが多く、今後のさらなる活躍が期待される審査会となりました。最後になりましたが、長時間にわたり教育的見地に立ち、厳正なる審査を担当して頂いた審査委員の皆様、心より感謝申し上げます。

博士課程の部

該当者なし

修士課程の部

古賀晴香（北九州市立大学）

「光応答性材料を利用した細胞パターンニング技術の開発」

山口雅紀（九州大学）

「温熱誘導型遺伝子治療を目指したハイブリッドプロモーターシステムの開発」

渡辺雄太（九州大学）

「ディーゼル車における排ガス浄化触媒の高性能化を目指した超強酸担体担持Pt触媒の開発とそのデカン燃焼能」



鹿毛支部長と平成23年度九州支部学生賞受賞者の皆さん

審査委員氏名

審査委員長：吉塚和治（化学工学会九州支部副支部長）

審査委員：鹿毛浩之、吉塚和治、上平正道、三浦佳子、中澤浩二、西浜章平、山村方人、
川喜田英孝、大島達也、加藤貴史、岩井芳夫、松隈洋介、水本博、松根英樹、
河邊佳典、武井孝行、山本剛